

やまびこ

363

声に出して読んでみる…？

5月になってやっと快適な気候になってきました。外で本を読んだり、窓を開けて春を感じながら本を読んだりするのもぴったりの季節です。寒いと口が回らない、暑いと体を使うことなんて大変…今だからこそ家でも外でも気持ちよくできる、音読はいかがでしょう？一読してちょっと内容が難しい気がする、そして難しい気がするからか目が滑って全然読めない…という文章でも、指でたどりながら声に出して読んでみると意外と頭に入ってくる！なんてことはありませんか？音読は、目と耳からインプットしながら口でアウトプットする、という複数の作業を脳が同時に処理するため、黙読するよりも脳の活動が高まります。その効果で取り掛かりにくい難しい文章も頭に入りやすく、記憶にも残りやすくなるそうです。副次的な効果としては、目で追いながら黙読するときにはだいたいの意味がわかればいいか！と流してしまう読み方がわからない字も、音読するのならしっかり読めた方がいいよな…と調べるきっかけにもなります。

せっかくなので特におすすめの、声を出しながら読みたい本を紹介させてください！『なぜ、おかしの名前はパピプペポが多いのか？言語学者、小学生の質問に本気で答える』（川原繁人／著）は言語学の中でも音声に注目して書かれた本です。専門家が著者の本なのですが、小学生向けの講義をまとめたものなので、非常にわかりやすく書かれています。日本語の五十音で濁点が付けられるものと付けられないものがあるのはなぜなのか、コロコロとゴロゴロで転がってくるものが大きく感じるのはどちらか？その謎を解き明かすヒントは、言葉を話すときの体の使い方にあるのです…気になる答えは本を借りて、声を出して読みながら確認してみてください！

他にも、短歌・俳句・川柳・都都逸（どどいつ）の本で日本人になじみ深い七五調のリズムの心地良さを味わってみたり、この言葉って改めて考えると正しい意味ってどうだっけ…？となる場面がある、意味や言い方を間違えやすい言葉を口に出しながら正しく覚えてみたりするのもいいかもしれません。様々な本を集めましたので、ぜひ借りていってお楽しみください！

図書館にある「声に出して読みたい本」

◎言語学を楽しむ

- 『言語学クエスト』
ことらぼりょ／著(2024)
- 『言語学者も知らない謎な日本語』
石黒 圭／著
石黒 愛／著(2024)
- 『日本語の秘密』
川原 繁人／著(2024)
- 『方言学入門』（2013）
- 『方言萌え！？』
ヴァーチャル方言を読み解く』
田中 ゆかり／著(2016)

◎七五調を楽しむ

- 『都々逸っていいなあ』
小野桂之介／著
吉住義之助／監修(2021)
- 『サラリーマン川柳なっとく』
傑作選30回記念版』（2017）
- 『短歌ください 海の家でオセロ篇』
穂村 弘／著(2023)
- 『シルバー川柳 天真らんまん編』
みやぎシルバーネット／編
河出書房新社編集部／編(2023)

◎改めて日本語を考える

- 『ネットで見かけた信じられない日本語』
三條 雅人／著(2015)
- 『似ていることば』
おかベ たかし／文
やまで たかし／写真(2014)
- 『目でみる方言』
岡部 敬史／文
山出 高士／写真(2023)
- 『学校では教えてくれない
ゆかいな日本語』
今野 真二／著
丸山 誠司／イラスト(2016)

令和7年5月1日
鶴岡市立図書館
鶴岡市郷土資料館
〒997-0036
鶴岡市家中新町 14-7
TEL (図)25-2525
(郷)25-5014
FAX 25-2526



リードン ヨンデール
©Tsuchida Yoshiharu

やまびこ号の次回巡回日は

月 日です

新着図書は右記以外にもありますので、
お気軽にお声がけください。
新刊は、ホームページでも
ご覧いただけます。



5月の新着案内



◎小説・エッセイ

- 受け手のいない祈り (朝比奈 秋)
- 亡霊の鳥 (阿部 智里)
- 砂男 (有栖川 有栖)
- 記念日 (青山 七恵)
- 別れ道の二人 (赤川 次郎)
- 曇りなく常に良く (井戸川 射子)
- 珈琲怪談 (恩田 陸)
- 札幌誕生 (門井 慶喜)
- 愛の獣は光の海で溺れ死ぬ (金子 薫)
- 高宮麻綾の引継書 (城戸川 りょう)
- 絵馬と脅迫状 (久坂部 羊)
- 署長サスペション (今野 敏)
- 熟柿 (佐藤 正午)
- 花のたましい (朱川 湊人)
- 物語を継ぐ者は (実石 沙枝子)
- 名探偵再び (潮谷 駿)
- ノー・アニマルズ (鈴木 涼美)
- 闇をわたる (堂場 瞬一)
- シスター・レイ (長浦 京)
- 長くなった夜を、 (中西 智佐乃)
- 交番相談員百目鬼巴 (長岡 弘樹)
- 口出し屋お貫 (中島 要)
- レストランテ・ヴァンピーリ (二礼 樹)
- バックミラー (羽田 圭介)
- ああうれしい (畠中 恵)
- 梟の咆哮 (福田 和代)
- 名探偵たちがさよならを告げても (藤 つかさ)
- 団地メシ！ (藤野 千夜)
- 警察官の心臓 (増田 俊也)

◎実用書

- 見るだけIT用語図鑑300 (草野 俊彦)
- 学術論文とAI (山崎 知巳)
- 連合の系譜 (互 盛央)
- 図解でわかる14歳からの
自分を助ける心理学(社会応援ネットワーク)
- 有名人の死に心がゆらいだら(高橋 あすみ)
- ほどよく孤独に生きてみる (藤井 英子)
- 森永卓郎流「生き抜く技術」 (森永 卓郎)
- 奴隷・骨・ブロンズ (井野瀬 久美恵)
- 戦国大名の外交 (丸島 和洋)
- 京都の歩き方 (澤田 瞳子)
- ゼロから始める自分史レシピ (奥井 健二)
- 移民リスク (三好 範英)
- すごい補助金&助成金のもらい方(石渡 浩)
- 若手はどう言えば動くのか？ (ひきた よしあき)
- 匿名犯罪者 (櫻井 裕一)
- 教師の本音 (静岡の元教師すぎやま)
- 白黒でも伝わるデザイン (megkmit)
- 「新しい生徒会」の教科書 (高橋 亮平)
- 幕末女性の生活 (村上 紀夫)
- ひのえうま (吉川 徹)
- ネット怪談の民俗学 (廣田 龍平)
- 肝臓大復活 (栗原 毅)
- 心のうわがき図鑑 (なおにゃん)
- 毎日の体調がよくなる本 (小林 弘幸)
- 編むことは力 (ロレッタ・ナポリオーニ)
- アイラップで簡単レシピ お役立ち防災編
- くまモンの「ボクのきもち」 (くまモン)
- イラストレーション 2025 (平泉 康児)
- 現代人を救うアンパンマンの哲学(物江 潤)

リクエスト・予約開始は 5月9日(金) です

◎児童書

- 自分にやさしくする生き方 (伊藤 絵美)
- 東北偉人物語 (みちのく童話会)
- きみが社会のまんなか！ (大月 マナ)
- 四大公害病 (崎田 裕子)
- 日本の探査機と宇宙開発技術1(中村 正人)
- ズーミング！ 空港 (チャーリー古庄)
- 書写はおもしろい (上平 泰雅)
- 仕事をめぐる愛と冒険 (小手鞠 るい)
- ◎絵本
- パパさんぽ (きくち ちぎ)
- これはしま (ジョン・クラッセン)
- これはのうじょう (ジョン・クラッセン)
- わく (塩野 米松)
- 大ピンチずかん 3 (鈴木 のりたけ)
- しっぽのつり (せな けいこ)
- まてないの (ヨシタケ シンスケ)

= 先月結果発表された賞 =

女による女のための R-18 文学賞

大賞・友近賞 ダブル受賞

『笑顔は業務に含みません』

斉藤時々

女性のみが応募可能、選考員も女性のための文学賞。R-18 とあるが、大人が楽しめる作品を…という意味であり、応募年齢に制限はない。(本館所蔵の小説新潮 2025 年 5 月号に受賞作品の掲載あり)

受賞歴のある現在活躍中の作家

宮島未奈・町田そのこ・窪美澄